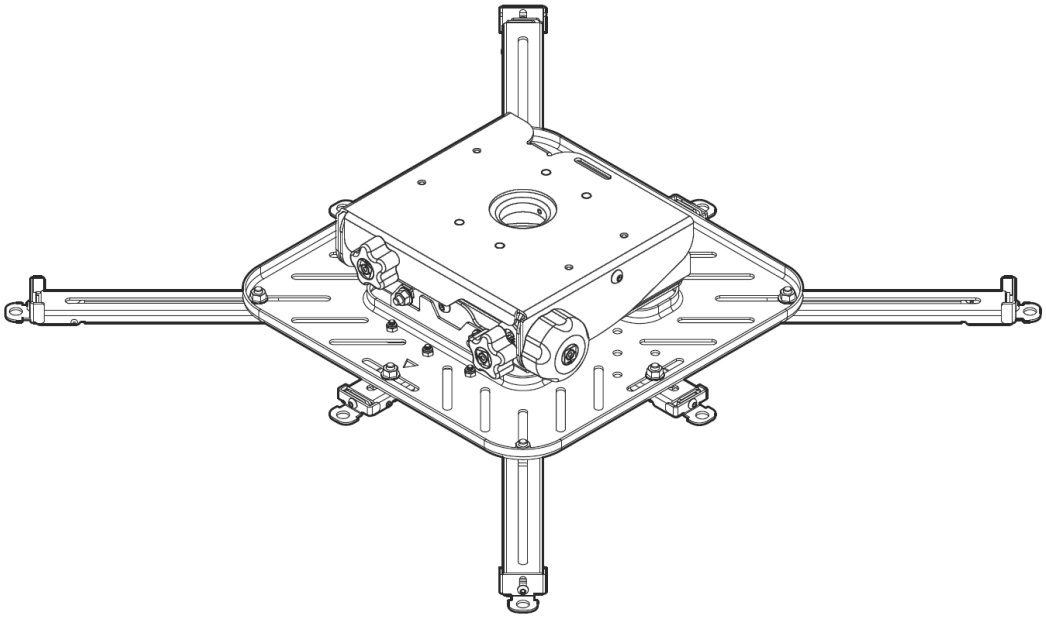
取扱説明書

CHIEF
A brand of legrand

大型プロジェクターマウント

型番 VCTUB / VCTUW



VCTUB : 黒塗色仕様
VCTUW : 白塗色仕様

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

●お客様の安全のため、取り付け場所の強度には、少なくともプロジェクターおよび金具の合計重量の5倍に耐えるよう十分注意の上、設計施工を行ってください。
●作業は必ず2名以上で行ってください。
●取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
●取り付けるプロジェクターの取扱説明書をよくお読みになり、メーカーからの注意事項や指示にしたがってください。

本製品は黒塗色と白塗色の2モデルありますが、当説明書では同一製品として取り上げています。

安全上のご注意　ご使用の前に必ずお読みください

⚠ 警告と注意！

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告
作業は必ず2人以上で行ってください。不十分な人員での作業はけがや破損の原因となります。

⚠ 警告
部品を改造しないでください。また、破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

⚠ 警告
取り付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やプロジェクターの落下につながり、非常に危険です。

⚠ 警告
ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また壁や天井に取り付ける固定金具類は、製品に付属しているアンカーやファスナー等に関わらず、壁や天井の材質や構造に適した固定金具を別途お買い求めの上、適切に施工してください。

⚠ 警告
開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。

⚠ 警告
作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください、指をはさまないようにしてください。

⚠ 警告
プロジェクターの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にプロジェクターが固定されていることをご確認ください。また、ケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。

⚠ 注意
運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前に、確実に商品の内容を確認してください。

設　置　の　前　に

■設置場所について

- 本製品とプロジェクターを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、プロジェクターと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、構造物の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。
  幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの天井面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

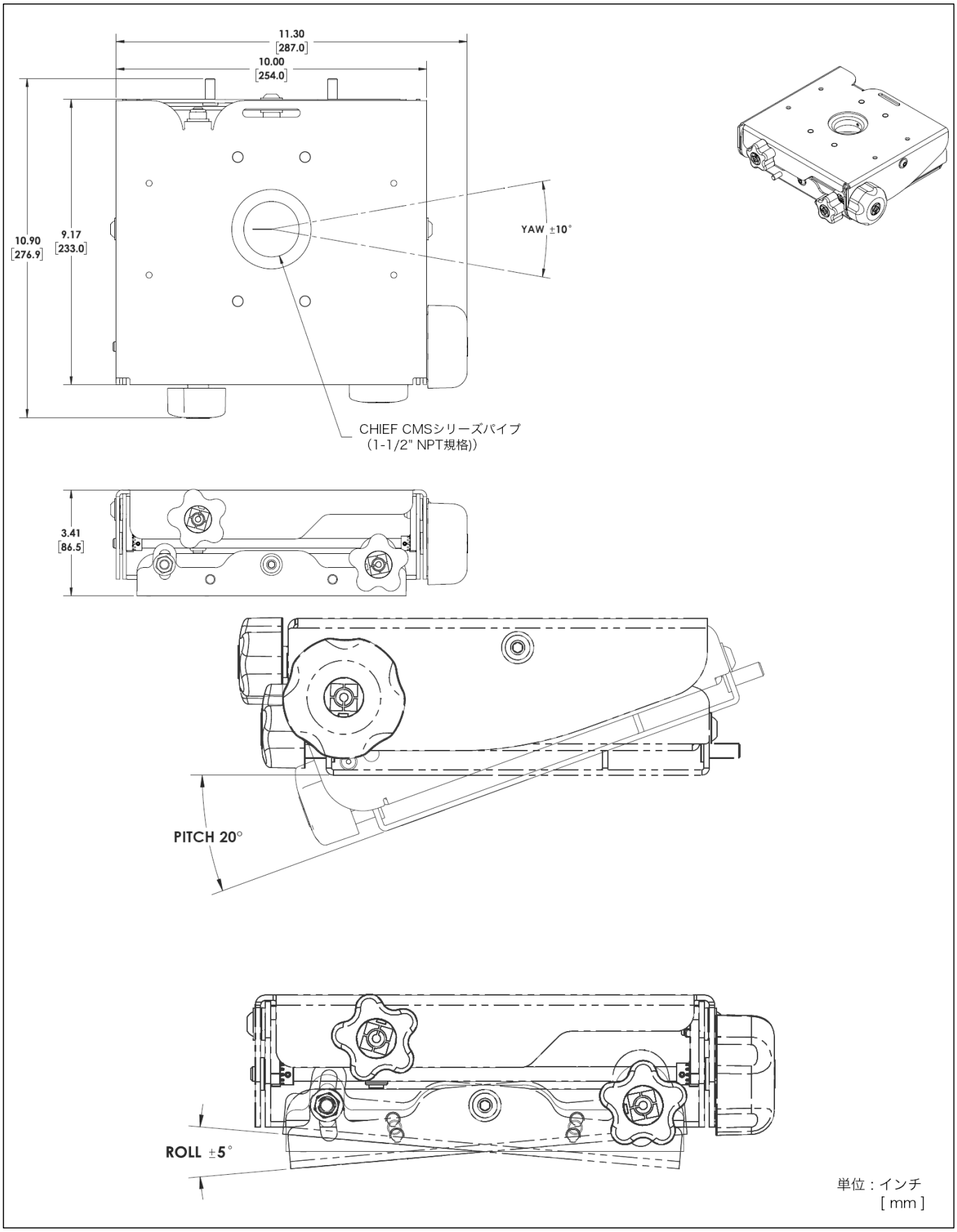
■設置方法と設置環境についてのご注意

1.各種の天井面に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2.本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、機器の天井面への適切な設置場所を決めてください。
3.図に従って天井面への適切な下穴処理やアンカー固定を必要に応じて行なってください。
4.天井面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
5.本製品は天井面にしっかりと取付けてください。本製品の取付穴4ヶ所にしっかりとボルト固定してください。

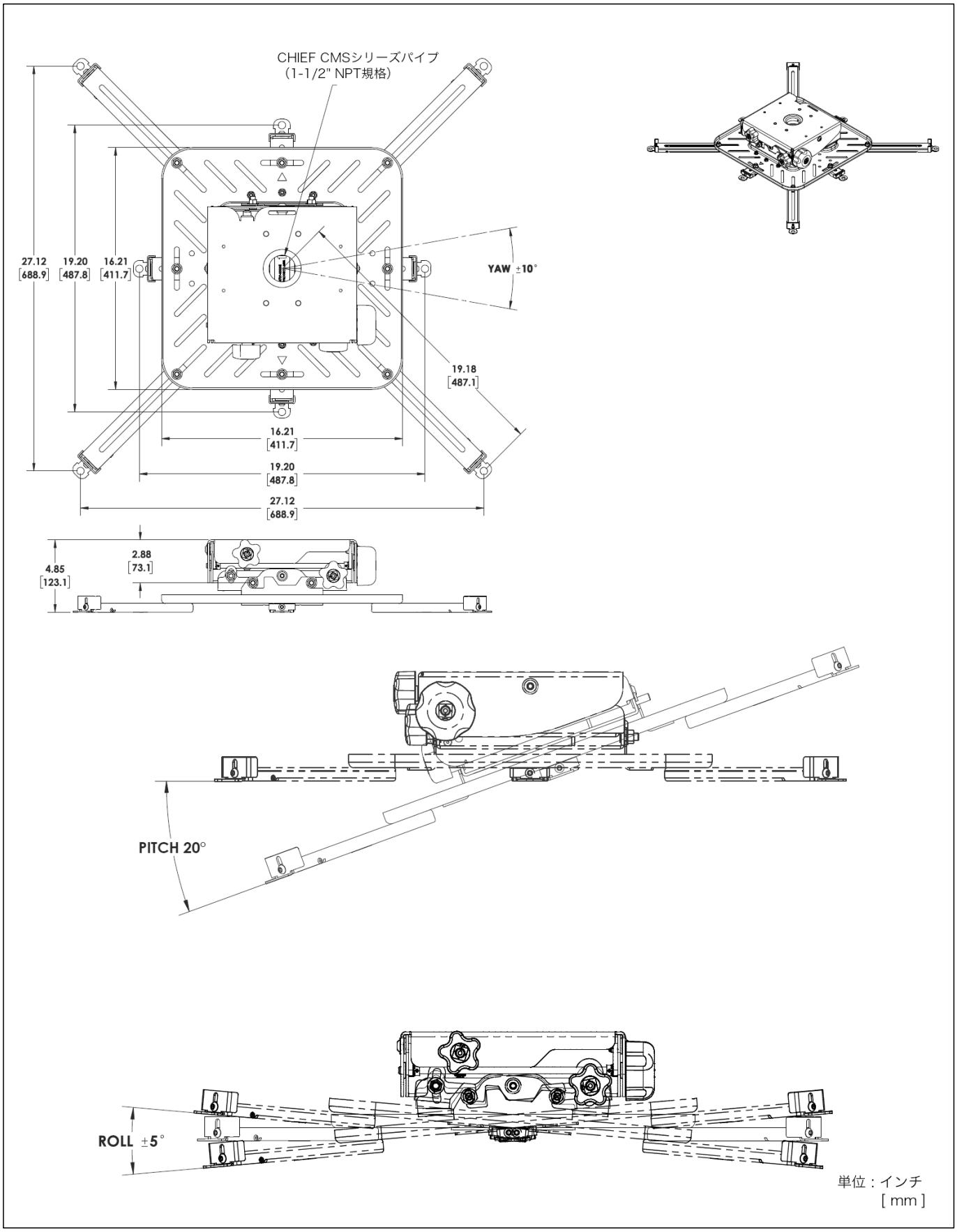
■　プロジェクター設置環境についての注意喚起

調理場所や工場など、油煙や揮発した溶剤・薬品が存在する環境や油、洗剤、薬品等が付着しやすい環境にプロジェクターを設置する場合、それらの成分がプロジェクターの金具取付部に付着して化学反応がおこり、金具取付部が劣化・破損し天吊りマウントからプロジェクターが落下するおそれがあります。
天吊りマウントに取り付けるプロジェクターの構造や対策状況は各メーカーにご確認ください。
上記の環境に設置する場合は、天吊りマウントからプロジェクターが落下しないようにワイヤーやラッシングベルト等を用いて、落下防止策を講じてください。

■各寸法図

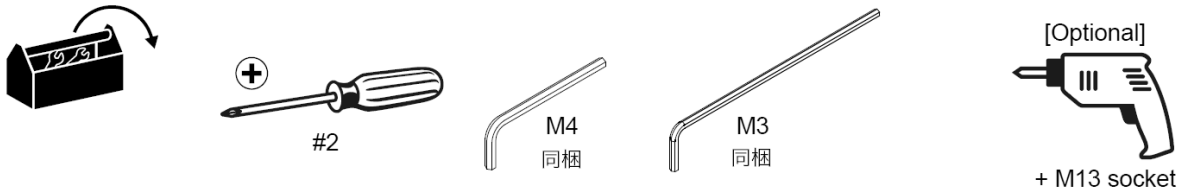

11.30
[287.0]
10.00
[254.0]
10.90
[276.9]
9.17
[233.0]
YAW ±10°
CHIEF CMSシリーズパイプ
（1-1/2" NPT規格)）
3.41
[86.5]
PITCH 20°
ROLL ±5°
単位：インチ
[mm]

■各寸法図


CHIEF CMSシリーズパイプ
（1-1/2" NPT規格）
27.12
[688.9]
19.20
[487.8]
16.21
[411.7]
YAW ±10°
19.18
[487.1]
16.21
[411.7]
19.20
[487.8]
27.12
[688.9]
4.85
[123.1]
2.88
[73.1]
PITCH 20°
ROLL ±5°
単位：インチ
[mm]

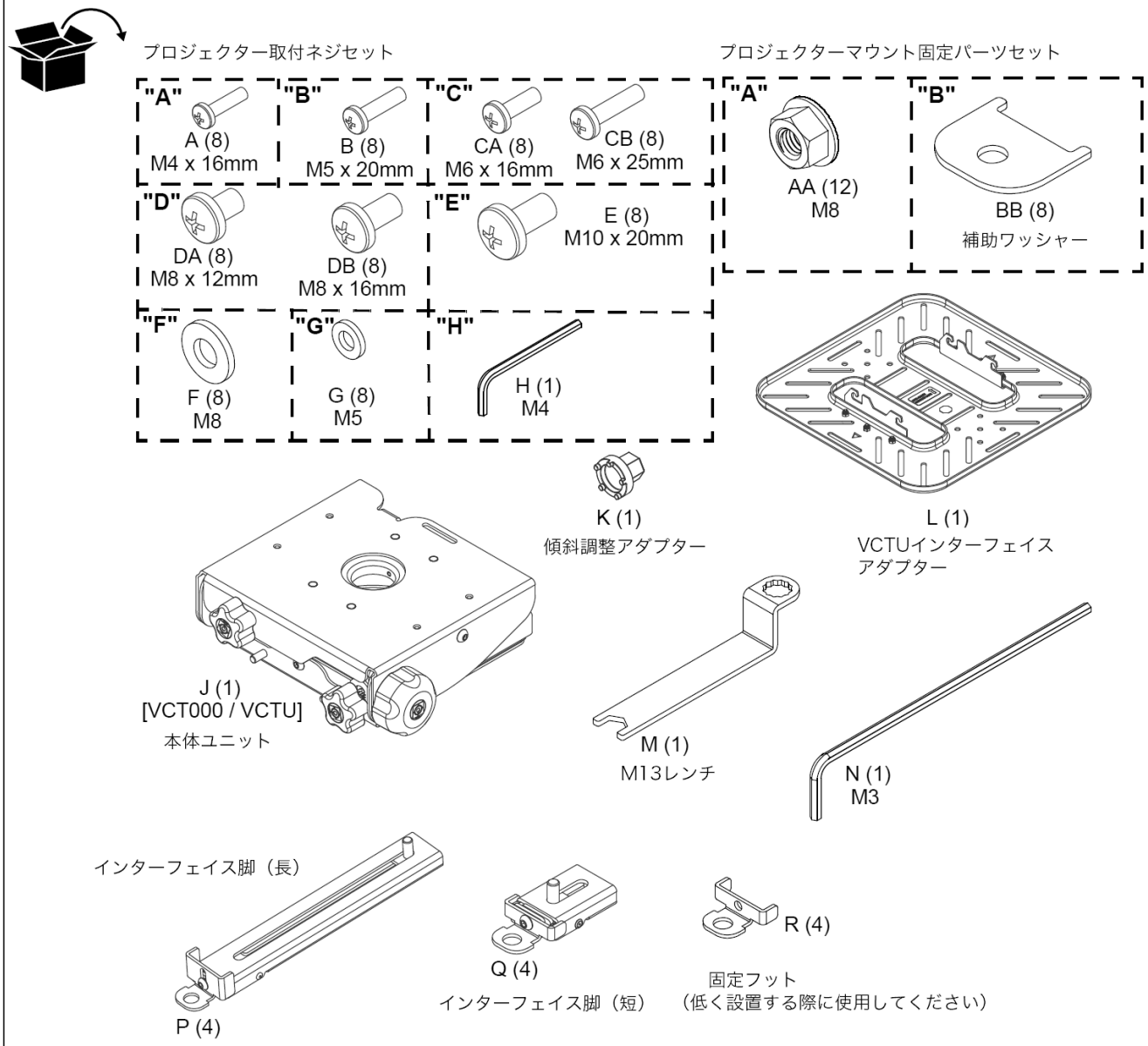
組　立　手　順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



・下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認ください。

■本製品の封入物

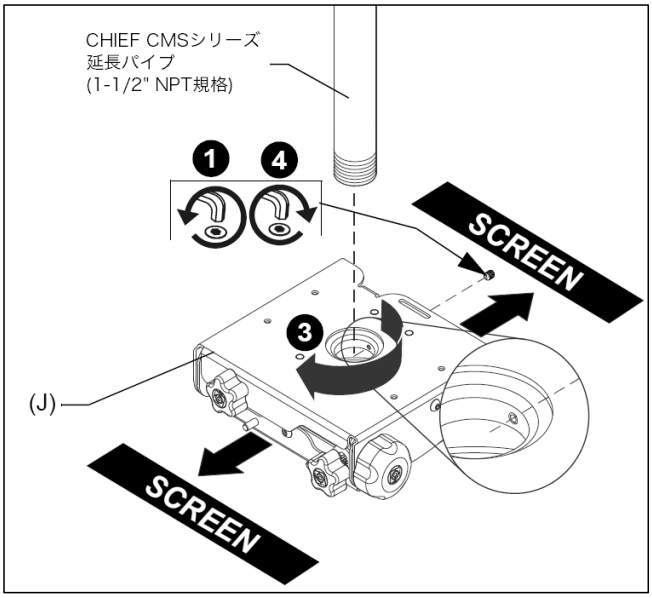


■組み立ての前に

⚠ 製品の耐荷重を超えると、重傷または機器の損傷につながる可能性があります。設置取付業者の責任において、本製品に取り付けられているプロジェクターを含むすべてのアクセサリとコンポーネントの合計重量が68 kgを超えないようにしてください。

⚠ 許容重量を超えると、機器等の損傷につながる可能性があります。

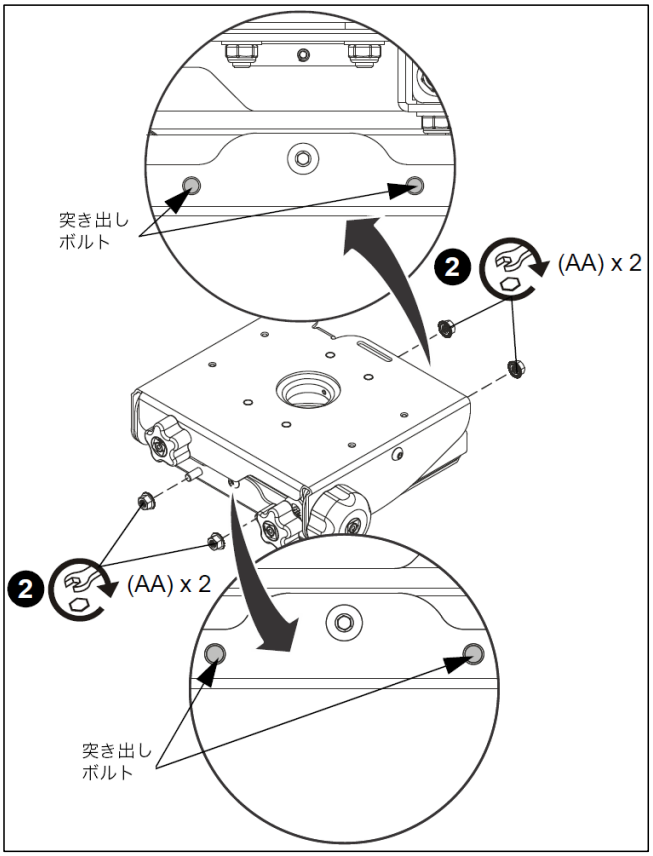
■組み立て手順



【図-1】

ここからのインストール手順では、あらかじめ天井部分から天井プレートを介してCHIEF CMSシリーズパイプ（別売）が適切に設置され、設置されていることを前提に説明を進めていきます。

1. VCTマウント（J）に出荷時に取り付けられている止めネジを緩めていったん取り外しておきます。（図1を参照）



【図-2】

2. VCTマウント（J）の両端の2つの突き出しボルトに4つのM8フランジナット（AA）を緩く仮止めしてください。（図2を参照）

3. VCTマウント（J）を予め天井に取り付けたCMSパイプに、ネジ山を4山～6山以上締めて締まるまでねじ込みます（図1の（J）を参照）。

⚠ 注：2つのノブを備えたVCTマウントの側面が画面と平行、または画面の反対側にあることを確認してください。（図1を参照）

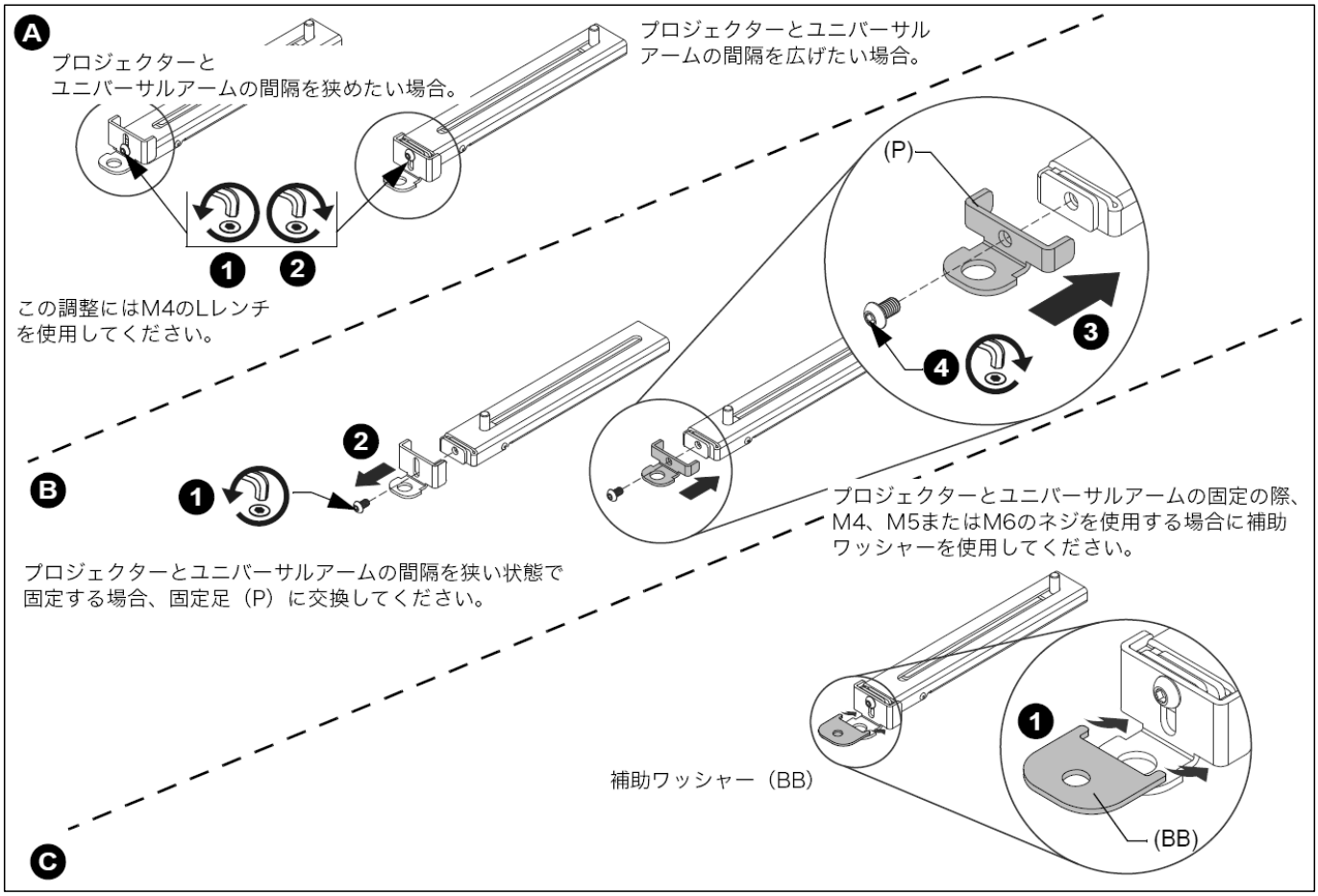
4. ポールに固定したVCTマウントの不用意な動きを防ぐために、VCTマウントに止めねじで固定してください。（図1を参照）

⚠ ・注意：不適切な設置は、重大な人身傷害または機器の損傷につながるプロジェクター落下につながる可能性があります。

⚠ 指定されている取り付けネジ等のパーツは他のパーツと代用しないでください。 メーカーが提供するパーツのみを使用してください。

1. HCUインターフェイスブラケットに付属のインストール手順とハードウェアを使用して、VCTUにHCUインターフェイスブラケットを固定してください。

■ユニバーサルアームの組み立て方



【図-3】

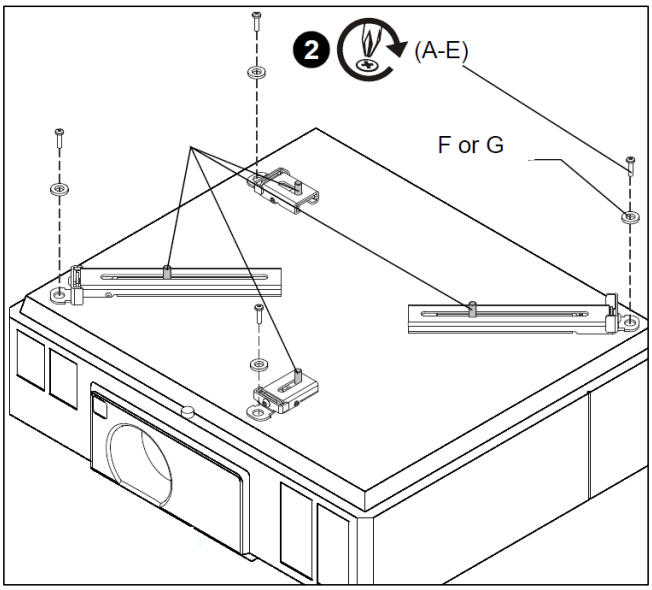
プロジェクターとマウントを取り付けるにはユニバーサルアームをプロジェクターに適切に取り付ける必要があります。図-3を参照しながらプロジェクターにユニバーサルアームを取り付けてください。

A インターフェース脚の高さは、脚の端にあるボタンヘッドネジを緩め、脚の高さを上下に調整し、必要な高さでボタンヘッドネジを締めることで調整できます。
（図-3を参照）

B インターフェース脚の高さ（P）は、フットを取り外して固定フット（P）に交換することにより、低クリアランスの設置で変更できます。
（図-3を参照）

C M4、M5、またはM6取り付けネジを使用する場合は、補助ワッシャー（BB）を取り付けに追加する必要があります。（図-3を参照）

■プロジェクターにブラケットを取付ける



【図-4】

■ メモ
図-3は、プロジェクターに基づいて考えられる取付けのシナリオを示しています。

インターフェイス脚の特定の接続ポイントは、プロジェクターの穴のパターンによって異なります。

取り付け後にプロジェクタの重さが中心にあり、バランスが取れていれば、特定の穴パターンごとにいくつかのシナリオが使用できます。

■ メモ
インターフェイスアセンブリ（L）の三角形は、プロジェクターに取り付けられたときに、スクリーンの方向が正しい向きになります。 （図4を参照）

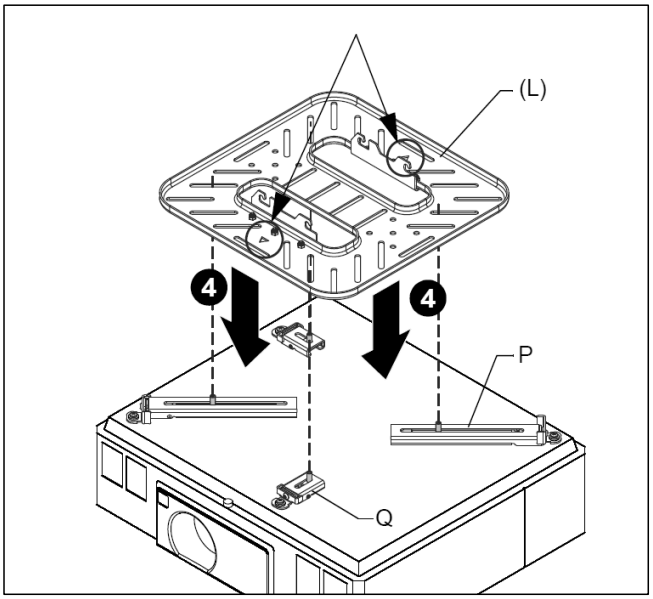
1.プロジェクター上部の脚を動かして、脚内のスライドスタッドブラケット（PまたはQ）をプロジェクターの中央に向け、脚の取り付け点をプロジェクターのネジ穴に合わせてください。 （図4を参照）

⚠ 重要 ：プロジェクターには少なくとも4本のインターフェイス脚を使用する必要があります。

⚠ 警告：不適切な設置は、落下による重大な人身傷害または機器の損傷を表示する可能性があります！

⚠ 不適切なサイズのネジを使用すると、プロジェクタが損傷する場合があります。 適切なサイズのネジは、プロジェクターの取り付け穴に簡単かつ完全にねじ込まれます。 スペーサーが必要な場合は、同じ直径の長いネジを使用してください。

2.ハードウェアバッグ（A-H）から正しいネジとスペーサー（必要な場合）を選択し、インターフェイス脚をプロジェクターの上部に取り付けてください。
（図4を参照）



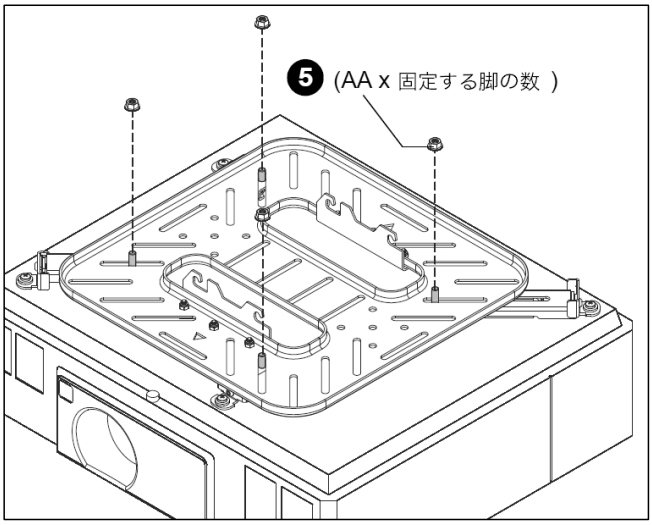
【図-5】

⚠ 注：M4、M5、またはM6取り付けネジを使用する場合は、固定ワッシャー（BB）を取り付けに追加する必要があります。 （図1を参照）

■インターフェイスアセンブリーの取り付け

3. VCTUインターフェイスアセンブリ（L）が脚に均等に取り付けられるように、スライドスタッドブラケットを脚に配置してください。（図3を参照）

4.すべての脚のスライドスタッドブラケットにインターフェイスアセンブリ（L）を配置してください。（図3を参照）

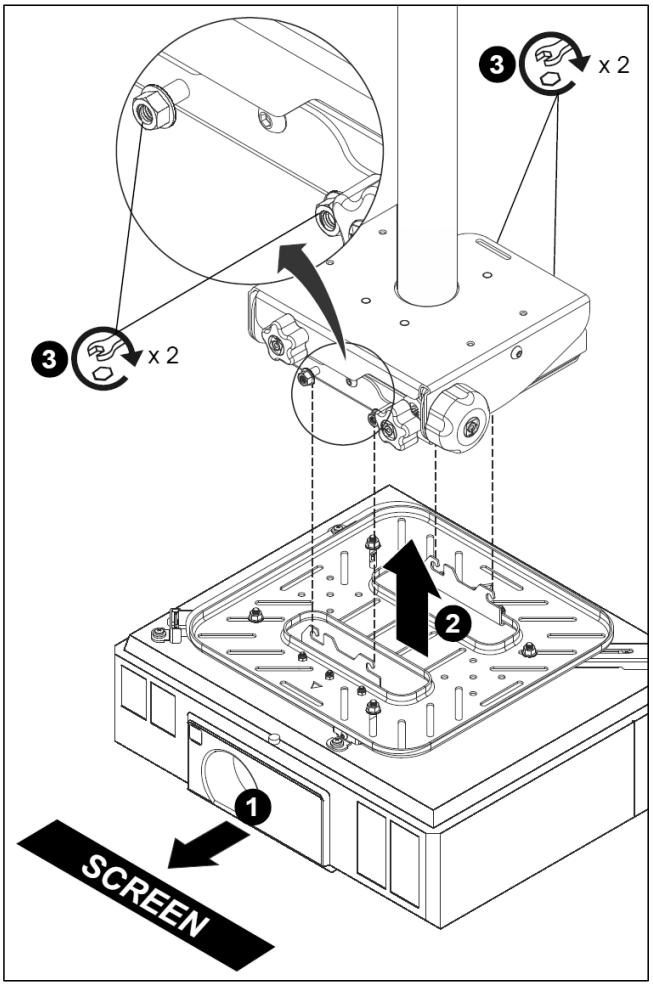


【図-6】

5.インターフェース脚（PまたはQ）ごとに1つのM8フランジ付きナット（AA）を使用して、脚のスライドスタッドブラケットにインターフェースアセンブリ（L）を固定してください。（図4を参照）

6. HCUをVCT000に接続してください。 詳細については、VCT000 / VCTUのインストールマニュアルを参照してください。

■プロジェクターへの取り付け



【図-7】

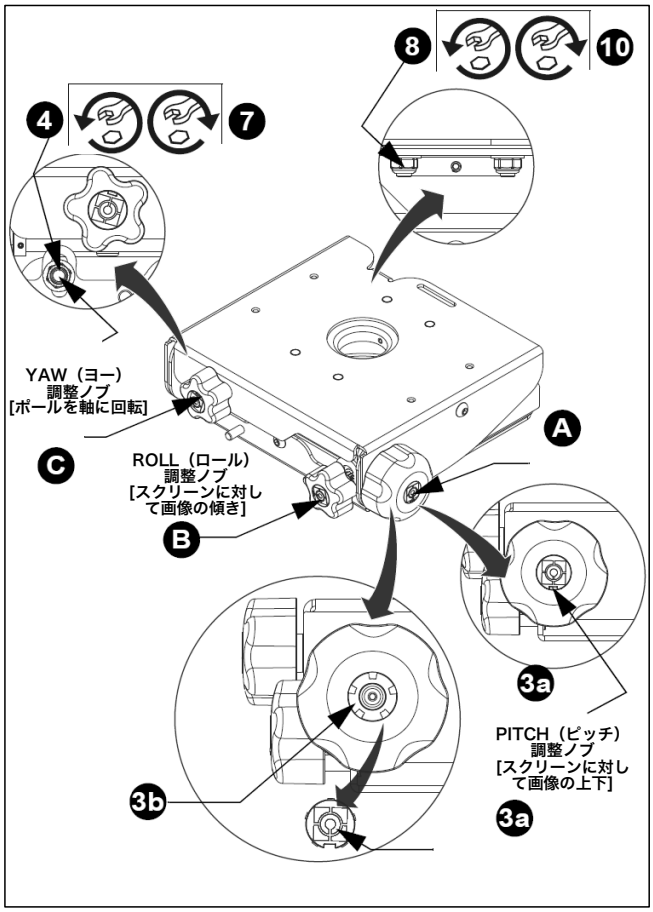
1.プロジェクタがスクリーンに直角になるように、インターフェイスブラケットが取り付けられたプロジェクタを向けてください。（図3を参照）

2.プロジェクターを持ち上げて、VCTハウジングから伸びる4つのスタッドのフランジナットの後ろに取り付けてください。（図3を参照）

⚠ 警告：不適切な設置は、重大な人身傷害または機器の損傷につながるプロジェクター落下につながる可能性があります！ インターフェイスブラケットフックがVCTマウントのスタッドに確実に固定されるようにしてください！

3. 4つのスタッドのフランジナットを締めてください。（図3を参照）

■各部の調整



【図-8】

⚠ 警告：取り付けハードウェアは、必要な可動域を得るのに十分なだけ緩めます。 取り付け金具そのものをゆるめたり指定のない箇所を分解したりすると、けがや装置の重大な損傷につながる恐れがあります！

PITCH（ピッチ）調整

1. **PITCH（ピッチ）調整ノブ（A）**を反時計回りに回すと傾斜角度が最大20°まで下げることができます。（図-8を参照）

2. PITCH（ピッチ）調整ノブ（A）を時計回りに回すと、傾斜角度が最大0°になります。

PITCH（ピッチ）調整ノブ（A）は長焦点レンズを使用して投射距離が離れたスクリーンに映写する際に傾斜角度を精密に微調整できるようにするため、**ノブ内部のギア減速比が極めて大きくなるように設計**しています。

このため、後述のように傾斜角を大きく取る設置など粗調整をする場合はノブを数十回転程度まわしていく必要があるため、電動ドライバーをお使いいただくと便利です。

3.傾斜角度をさらに大きく調整する場合

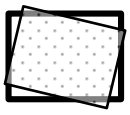
3a：小型マイナスドライバーを**PITCH（ピッチ）調整ノブ（A）**のセンターキャップ部のスロットに挿入してセンターキャップを取り外してください。

3b：ピッチソケットアダプター（H）をノブに挿入します。

3c：ピッチソケットアダプターを手動で調整するか、M 13ソケットを備えた電動ドリルを使用して、PITCHを希望の角度に調整してください。

3d：ピッチソケットアダプターをノブから取り外し、元のセンターキャップに交換してください。

※重いプロジェクターの場合は吊りマウントを含む装置全体の部材が荷重になじむまで設定した傾斜角がわずかにズレていくことがあります。
必要に応じて時間が経過した後に再調整してください。



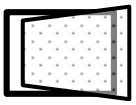
ROLL（ロール）調整

4.**ROLL（ロール）調整ノブ（B）**を緩めます（YAWノブのすぐ下と左側にあります[VCTUWの場合は黒いナット、VCTUBの場合は銀のナット]）（図-8を参照）。

5. ROLLノブを時計回りに回して、ノブの近くのマウントの側面を下方向に動かしてください。

6. ROLLノブを反時計回りに回して、マウントの反対側を下方向に移動してください。

7.ROLLノブを締めます（ヨーロールノブのすぐ下と左にあります）。



YAW（ヨー）調整

8.**YAW（ヨー）調整ノブ（C）**マウントの背面からアクセスできます（VCTUWの場合は黒いナット、VCTUBの場合は銀のナット)をゆるめてください。 （図-8を参照）

9.必要に応じて、マウントをポールの軸方向に回転させて、ヨーを調整してください。

10.位置が確定できましたらヨーナットを締めてください。

memo

http://www.avc.co.jp/

株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

■ システム販売事業部
＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
＜関　西＞ 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144

Copyright (c) 2021 Audio Visual Communications Ltd. All Rights Reserved.

2021.05作成